

富山県生物学会臨時理事会議事録 令和5年9月14日(木) 20:00~21:00

出席者 佐藤 布村 中田 福田 稲村 村井
大原 松村 白石 不破 草間

総会協議題

「RDB とやま」改訂および生物学会への委託について

1. RDB の作成に生物学会が富山県自然保護課の依頼を受けて協力する

全員：異議なし

2. 哺乳類、爬虫類・両生類、淡水魚類、昆虫類、軟体動物、甲殻類の分類群について協力する

全員：異議なし

3. メールと HP で、それぞれの分類群の調査に協力できる生物学会会員を募集する期日、連絡先(村井、福田、稲村、根来、布村)

白石：人選や HP で公募するかは各ワーキンググループ長が判断して、やりやすいようにすればよいと思う

佐藤：各メンバーは今月末までには決めた方が良いでしょう。

稲村：各ワーキンググループ長にメールなどで聞く。

全員：それで異議なし

4. RDB のとりまとめは自然保護課の指示・調整により環境アセスメントセンターが行うことを了承する

稲村：当初の予定では、23年度、24年度で作成することとして予算計上をしているが、委託先の急な変更などでスタートが遅れたこともあり、県には25年度まで予算要求をお願いしているが、現時点では確約できない。県は調査の延長に加え、RDBの印刷や普及活動も念頭に25年度予算獲得に臨みたい。委託を受けた環境アセスメントエンタープライズの業務として推測できるものは、検討委員会の開催業務、各再委託先への支出、各ワーキンググループから来たデータの取りまとめだと思われる。

また、委託費の分配に関しては、何かアイデアがあれば伺いたい。種数なのか人数なのか、その中間なのか。植物は調査した人が各自請求すると聞いた。

白石：環境アセスメントセンターはどのような業務を委託されたのか各分類群ごとに事情が違うので、柔軟な対応をしてほしい。

佐藤：ワーキンググループから提出されたデータを取りまとめて、メッシ

ユマップを作成する程度ではないだろうか。文献調査に関しては不明である。

村井：出来るだけすみやかに作業内容を明らかにして欲しい。

布村：文献調査も含めてワーキンググループの仕事であると認識している。本に記載する文章の作成が最も重要であり、記載内容を各ワーキンググループが作成すべきだと思う。

佐藤：前回の RDB 改訂のときに使われたデータに関しては、県から各ワーキンググループ長へ情報共有されると聞いている

全員：異議なし

5. 調査に係るとりまとめ（費用を含む）は稲村副会長が行う

佐藤：非常に大変な役回りではあるが、よろしく願いしたい。

全員：異議なし

稲村：分野ごとに事情が違うと思うので、個々に相談がある場合は、稲村に直接相談ください。